

学問のすすめ

埼玉県学力・学習状況調査の結果から分かったこと

先日、埼玉県学力・学習状況調査の結果が出ました。個票については、お子さんを通して返却しました。本号では、その結果をお伝えしたいと思います。

まず、伸びた児童の割合です。県の調査の特長の一つに、児童一人一人の伸びを知ることができる 것입니다。左下の表をご覧ください。本校の児童は県の平均よりも伸びている児童の割合が高いことがわかります。とりわけ、現5年生の算数は県の平均よりも12%以上も高いです。児童一人一人に学力がしっかりと身に付いてきていることがうかがえます。

伸びた児童の割合 (%)

	国語			算数		
	県	本校	県との差	県	本校	県との差
	4-5年	82.1	87.0	4.9	65.3	77.8
5-6年	87.3	93.2	5.9	61.1	66.1	5.0

県平均正答率との差

学年	国語 (%)		算数 (%)	
	R1	R2	R1	R2
4	-2.9	5.8%UP	-3.7	5.0%UP
5	-2.0	+2.9	-2.1	+1.3
6	2.2%UP	+0.2	2.4%UP	+0.3

次に、県平均正答率との差について、ご説明します。右上の表をご覧ください。昨年度と比較すると現5・6年生が国語・算数とも県の平均を上回っていることがわかります。特に現5年生の国語・算数ともに昨年度より5%以上向上していることがわかりました。昨年度よりも学力が向上したことが数値として表れています。

しかし、課題も見えてきました。国語では「読解力」、算数では「思考力」に課題があることがわかりました。

「読解力」とは、文章などを読み、内容を理解し、問われていることに対して答える力です。「思考力」とは、数値や表・グラフ等から内容を理解して、自分の考えを伝える力です。学校でもこれらの力を伸ばすために、今後も読書活動に力を入れたり、学習プリント等で補ったりしていく予定です。ご家庭でも子供たちが積極的に、読書や家庭学習に取り組めるよう声かけをしていただくとありがたいです。

今回の県の調査結果を今後の教育活動や授業に生かしていきたいと思っております。